愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	サブカルチャー論		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

カルチャー（文化）とは、人類が生活を豊かにするため築き上げてきた成果のことで、それぞれの民族・地域・社会によって固有の文化がある。また、それは学習や伝習で主体的に、あるいは生活の中などで受動的に獲得され、民族・地域・社会の構成員の多数派（マジョリティー）となったものともいえる。これはメインカルチャーと称することもでき、民族・地域・社会において支配的な文化のことである。それに対し、サブカルチャーとはメインカルチャーの下位に潜伏する比較的少数派（マイノリティー）が築いている成果である。この授業では、日本のサブカルチャーである漫画・アニメについて、深く考え、議論し、より豊かな教養を身に着けることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本講義は対面で、グループワーク、プレゼンテーション、ピアインストラクション、ディスカッションの機会を積極的に設け、実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	授業概要、成績評価方法等を説明する。	□
第2回	マンガ・アニメの名言	マンガ・アニメの名言を通して、日本のサブカルチャーについて考える。	□
第3回	SFマンガ・アニメ	サブカルチャーとしてのSFマンガ・アニメを考える。	□
第4回	マンガ・アニメの種類と表現	マンガ・アニメの種類と表現（言葉、吹き出し、オノマトペ、形喩、コマ等）を学ぶ。	□
第5回	日本のマンガ・アニメ文化	日本の文化（サブカルチャー）としてマンガ・アニメ・ゲーム・コスプレを考える。	□
第6回	名古屋とマンガ・アニメ文化	名古屋の文化（サブカルチャー）としてマンガ・アニメ・ゲーム・コスプレを考える。	□
第7回	ヲタク・腐女子・ゲーマー・厨二病・萌え・コスプレイヤー	ヲタク・腐女子・ゲーマー・厨二病・萌えとは何かを考える。	□
第8回	中間のまとめ	前半を振り返り、中間のまとめを行う。	□
第9回	少年マンガと少女マンガ	少年マンガと少女マンガを通してジェンダーについて考える。	□
第10回	聖地巡礼	マンガ・アニメがもたらした聖地巡礼について考える。	□
第11回	スポーツマンガ・アニメ	スポーツマンガ・アニメを通して、日本のスポーツを考える。	□
第12回	日常マンガ・アニメ	日常マンガ・アニメを通して、日本のサブカルチャーについて考える。	□
第13回	バトルマンガ・アニメ	サブカルチャーとしてのバトルマンガ・アニメを考える。	□
第14回	マンガのアニメ化、実写化	マンガのアニメ化、実写化について考える。	□
第15回	まとめ	サブカルチャーとしてのマンガ・アニメ・ゲーム・コスプレを振り返り、まとめを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

必要な資料としてマンガ・アニメ等を閲覧する。必要な情報を調査収集し、まとめる。（４時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題は全体で共有する機会をもち、課題に対するピアインストラクション、ディスカッションを行い、フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	経験や知識を活用して自らの意見をもち、それを表現することができる。 自他の意見を活かしあいながら合意形成を目指すことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験（レポート60%）
その他（プレゼン20%、グループワーク20%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じ、資料を配布します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じ、書籍などを紹介します。	
2		
3		
4		
5		